

出産前に 人生年表をつくって、 ベストな仕事の スタイルを考える



クラーク・フューチャー代表
赤木美香さん

人生全体の長さから考えたら、数年なんてほんの一瞬

「キャリアデザインのおかげ」キャリアコンサルタントとしてクラーク・フューチャーの代表をつとめ、忙しい毎日を送る赤木さんは、仕事をしながら育児をこなせている理由をこう分析する。

PROFILE ●36歳。広告代理店入り。経営コンサルタント会社を経て、3年前にクラーク・フューチャーを設立。サービスやキャリアのコンサルタントとして活躍。個人に対してのキャリアカウンセリングも始めている。
ある日のスケジュール ●6時30分 起床。夫と子供が7時に起床。朝食の準備。8時 夫が出勤。9時まで子供と遊び。9時30分に保育園へ送る。帰宅後洗濯片づけ。10時30分 仕事スタート。18時 保育園へお迎えに。21時まで子供と遊ぶ。22時 夫帰宅。ふたりで夕食。23時 ニュースをチェックし仕事。1時30分 就寝。

赤木さんのワーキングヒストリー

30代前半 ●経営コンサルタント会社に勤務。将来の人生年表を作成。子供は絶対に産みたいと思ひ、時間のコントロールがしやすいよう独立を考える。
34歳 ●コンサルタント会社を退職し、クラーク・フューチャーを設立。キャリアコンサルタントとしての仕事をスタートさせる。ご主人と出会い5度目のデートでプロポーズされ、35歳誕生日直前に結婚。
36歳 ●男児出産。3か月間仕事を休んだ後、復帰。キャリアアップより、仕事を継続することに重きを置き、子育ての時間もつくる。40歳前に、ふたり目を産みたいと考えている。



決意
 子供は欲しいし、仕事もしたい、時間の調整がしやすいよう自営の準備を始めた。

出産
 めでたく独立して、すぐに妊娠。出産。安心して任せられる保育園探しに奔走した。



復帰
 3か月で仕事を再開。夕方から子供が寝るまでの時間は一緒にいられるような時間調整をした。



育児
 7か月から保育園に預けているが、特別なことがない限り、18時に迎えに行くようにしている。

「25歳ごろから何歳で結婚して、何年後に子供が生まれて、そのときはこんなキャリアがあつて…、などと、自分の理想の未来をよく書いていました。目に見える形にすることで、自分の望むライフスタイルが明確になったんです」

そこでわかつたのは、絶対に子供を産みたいということ。そして仕事をしながらもなるべく子供と関われる生活を送りたいということ。

「そのためには、時間をコントロールしやすい環境が必要なので、独立自営をしようと考え、準備を始めました。そのおかげで、34歳で勤務していた経営コンサルタント会社から独立して、今の会社を立ち上げることに。その後すぐに結婚、半年後に妊娠し、男の子を出産したんです」

現在、1歳半になる子供は、毎日9時30分から18時まで保育園に預けている。しかし、朝食、夕食は必ず一緒にとり、送り迎えも赤木さんが

ほとんどこなし、なるべく一緒にいる時間をつくっている。

「確かに毎日4、5時間しか眠れないので、キツイですよ。それでも、この1、2年は、キャリアアップよりも、仕事を継続することに重きをおくスタイルにし、出産後も量は減らしています。子供が3歳くらいになったら、また次のステップを日ざしてバリバリ働こうと考えていますけどね」

子供が小さな期間は仕事への取り組み方を変えるのも、ワーキングマザーを長く続けるひとつの方法なので、自分のスタイルを明確にする。

「自分はやりがいを持って仕事をしたいのか、ただ働いていたいのかなど、自分のスタイルを明確にする。たとえば、質は落とさずとも量を減らしたり、パートタイムの単純な仕事でも、そのなかで効率をあげるにはどうしたらいいかなどを考えたり、人生全体の中で考えたら、1、2年

のプランクなんて小さいもの。でも母としての喜びや、成長はとてつもなく大きいものですから、決して回り道ではないはずですよ」

赤木さんの未来の「人生年表」には、最近ある事柄が追加された。

「40歳前に、ふたり目をつくるうと計画しています。大変よ、って言われるんですけど、4、5年後に子供ふたりで遊べるようになると、ひとりっ子より、楽なんじゃないかと思つて。そのころは私も40代に突入。キャリアアップを目ざして、仕事にのりについている、そんな予定ですよ」

最後に聞いてみました

**赤木さんが考える
 出産タイムリミットは何歳?**

子供に対していつも余裕をもって笑顔でいられるか、ということを考えたら、40歳までには産んだほうがいいかもしれません。体力を必要としますから。でも、先日、46歳初産でママになった友人もいるので、一概に何歳と設定するのはむずかしいですね。